

学校教育目標の実現を目ざす営みを

確かなものに

～組織的・継続的に改善し、協働できる学校評価を目ざして～



令和6年2月

豊橋市立栄小学校

1 はじめに

保護者の皆様には、日頃から本校の教育活動に対して、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。また、この度は、アンケート調査にご協力をいただきありがとうございました。学校評価はそれ自体が目的ではなく、学校教育目標の実現に向け、教育活動がどれだけ有効に行われたかを幅広い角度から見直し、学校全体の教育力を高めるための手段と考えています。また、その結果を公表していくことで、学校としての説明責任を果たすとともに、学校と関わる人々との課題克服に向けた協働体制をより強化したいと考えています。

このような考えから本校では、児童・保護者・職員の三者によるアンケート調査を実施して17年目を迎えました。今年度も昨年度に引き続き、学校生活の主体者である児童によるアンケートを2回、保護者の皆様によるアンケートを1回実施しました。また、学校評議員の方には、集計結果及び改善策を2月1日に提示し、来年度の方向性についてご助言をいただきました。

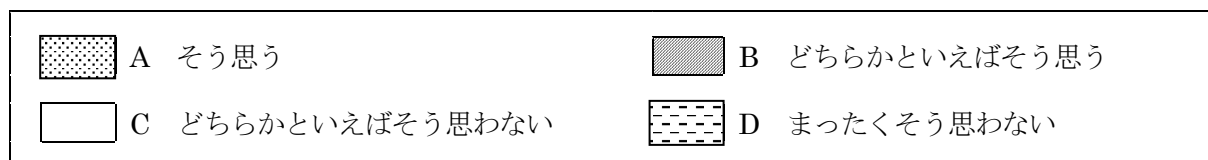
今後も、より質の高い教育を旨として努力していきます。本校の取り組みに関心を深めていただき、より多くの方からの真摯なご意見をお待ちしています。

2 アンケート集計結果とその考察

本年度より保護者の皆様へのアンケートの取り方について、次の2点を変更させていただきました。1点目は、Google Formsを使い、Web上でのアンケート回収としたことです。これにより、若干回収率が下がってしまいましたので、今後はより多くの方のご意見がいただけるよう、工夫してまいります。2点目は、回答の選択肢に「わからない」を加えました。これにより、保護者の方にどの部分の教育活動が不透明なのかを掴むことができました。以下の集計結果のグラフでは、他の二者と比較するために、「わからない」の回答は、比率には入れず、別で人数を明記させていただいております。

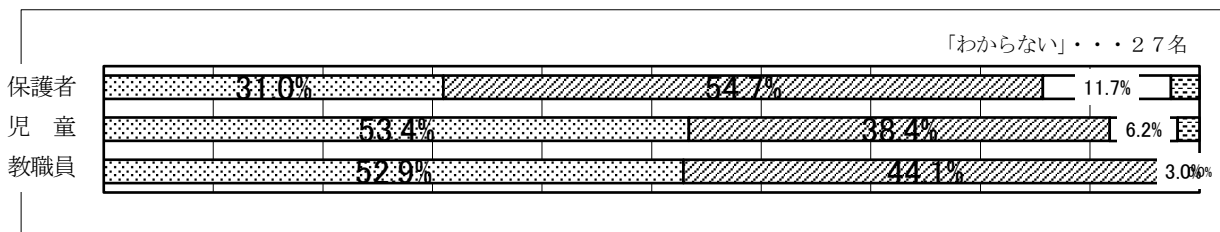
保護者へのアンケート集計では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計（肯定群）で12項目中12項目が80%以上になりました。昨年同様、本校の取り組みに対して一定の理解・支持をいただいていると考えています。

しかし、他と比べて評価の低い項目や三者の結果にずれがある項目、また「わからない」が多い項目については、「自由記述」に書かれたご意見も踏まえながら、来年度の計画づくりに反映させていく必要があると考えています。



(アンケート回収率…令和5年度 90.4% 令和4年度 93.1%)

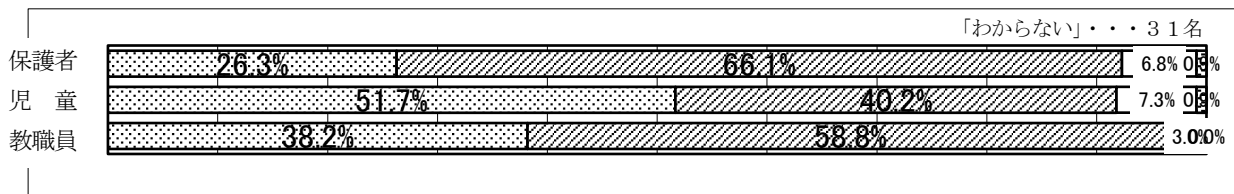
① 学校は、子どもたちがすすんで挨拶できるような取り組みを行っている。



○保護者の肯定群が85.7%ではありますが、「A そう思う」の評価が、他の二者と比べて低い評価となっています。「旗当番を行ったときに、自らすすんで挨拶ができる子が少なく驚きとともに残念に思いました。」「登下校時に、子どもから挨拶されることはほとんどありません。」「感染症対策で挨拶も難しい時がありましたが、落ち着いてきたので以前のように元気な栄っ子が戻ってくることを待っています。」「挨拶をしない子が増えてきている気がします。挨拶の必要性を説いてあげる必要があると思います。意味を説かず行動だけさせるのは古いやり方だと思います。」など、登下校時の様子から子どもたちの挨拶の様子を心配する声をいただいています。

本年度は、学年ごとに子どもたちが主体となって考えた「挨拶運動」を全校体制で行いました。その期間中は、校内で元気の良い挨拶の声が飛び交い、「挨拶がすすんでできるようになった」とアンケートに答える児童も昨年に比べて増えました。また、登校時は教職員が昇降口や教室で子どもたちを迎え、積極的に挨拶のできる雰囲気を作っています。しかしながら、それらの成果も一定期間や校内のみにとどまり、すすんで挨拶できることが習慣化されるところまでには、まだまだ至っていません。今回いただいたご意見を真摯に受け止め、登下校時においても気持ちのよい挨拶ができる子どもたちに育てていけるよう努めていきたいと思えます。来年度は、その成果が家庭や地域にも広がっていくような方法を模索しながら、引き続き「子どもたち主体の挨拶運動」を継続して行っていく予定です。ご家庭や地域の皆様におかれましても、積極的な挨拶をご協力いただけますようお願いいたします。

② 学校は、子どもたちに他人と協調し、思いやる心や感動する心を育てている。



○9割以上の保護者、児童、教職員が肯定的に回答しています。「友達とトラブルになっても、その都度、話を聞いていただいているようでありがたく思っています。おかげで楽しく過ごせています。」などの声もいただきました。

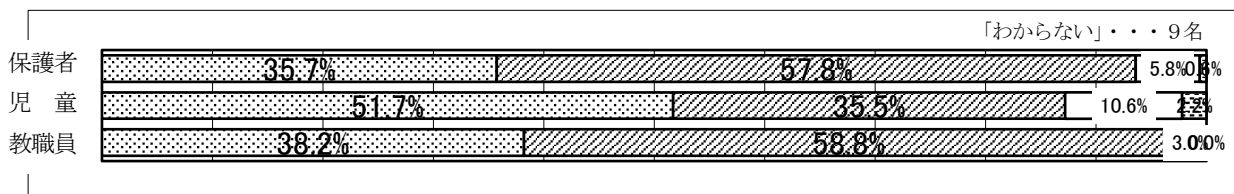
本校では集団としての規律を大切にしながら、温かな雰囲気のある学級づくりに全校で取り組んでいます。子どもたちのよい行いや思いやりのある行動を、帰りの会や学級活動等で認め合う取り組みを行うと共に、トラブルが起こった時には、互いの話をよく聞き、相手の気持ちも考えられるような指導に努めています。道徳の時間には、心に迫る教材をもとに話し合い、相手の思いを受け止めながら、お互いに自分の思いを語り合える場を作っています。立場によって考えが変わることや、思うことは人それぞれであることを知り、他者理解とともに自己理解も深めています。本校の児童は、自分のことだけでなく相手や周囲のことを考え思いやる気持ちを大切にすることが多いと感じています。

また、読書活動にも力を入れています。図書館ボランティアや「子どもの本を読む会」の方々が、図書館の環境整備や本の修理、本の紹介、読み聞かせなどの活動をしてくださっており、子どもたちの情操教育にご協力いただいています。

さらに、運動会の表現や競争遊戯、合唱や群読など、みんなで心を一つにして取り組む活動を大切にしています。

今後もこれらの活動を通して、お互いを認め、大切にすることを養うとともに、仲間とのつながりを感じ、安心して学校生活を送ることができる子どもたちを育てていきたいと思えます。

③ 学校は、子どもたちに必要な体力や、健康に気をつけて生活する意識を育てている。

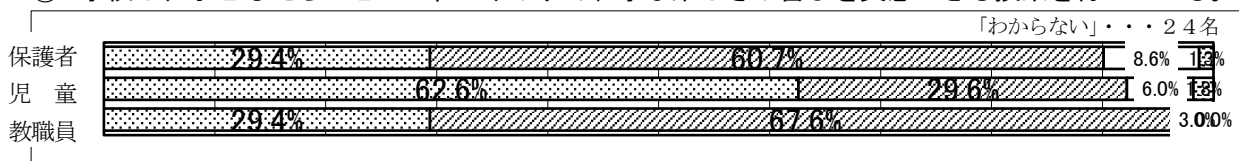


○9割以上の保護者の方から肯定的な回答をいただいています。いつも「南丸生活チェックカード」へのご協力、ありがとうございます。「校舎の建て替えは仕方ないことだとは思いますが、最大限子どもたちが外で遊べる環境などを整えてほしい。」「夏のプールは回数が少なすぎる。学校のプールと併用はできないのか。」「熱中症指数による行動制限。室内にずっと居ることが身体にとっては思わない。特に目には良くない時間が増えた。日陰なら出られるとか、授業内で目の届く範囲で短時間の外活動があるとよい。」などのご意見もいただきました。

本校では、長放課における外遊びを奨励し、力いっぱい体を動かしたり仲間と一緒に遊びの楽しさを味わわせたりする中で、子どもたちの体力・気力の向上に努めています。天気の良い日には、子どもたちと外へ出て、一緒に遊ぶ教職員が多いことは、本校の自慢のひとつです。また、逆上がり検定や「栄マラソン」「栄ギネス」など、目標を掲げることで、それに向かって懸命に練習し運動する子どもたちを育てています。しかし本年度は猛暑で、熱中症対策のために外遊びが制限されたことも事実です。また、今後は校舎大規模改修のため、使用できる運動場の範囲が極端に狭くなります。子どもたちの安全を第一に考え、できる限り運動量を確保できるよう、体育館を有効に活用しながら工夫していきます。また5月の運動会も、方法を工夫し、実施の方向で検討中です。

保健指導では、南丸生活チェックカードの取り組みに、保護者の皆様のご協力をいただきありがとうございました。本年度の学校保健委員会では、「メディアと睡眠の関係」について学びました。睡眠はお子様の成長にとって大切なものです。ご家庭でも、折りにふれてお声がけいただきたいと思います。

④ 学校は、子どもたちにとってわかりやすく、学ぶ楽しさや喜びを実感できる授業を行っている。



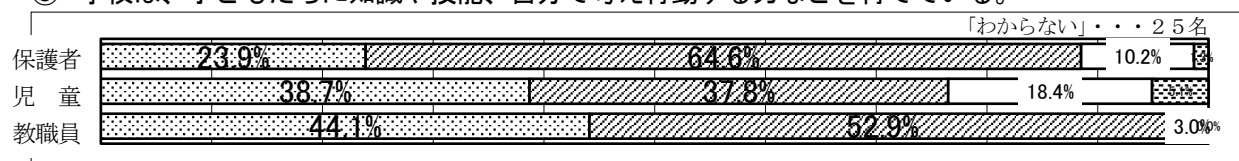
○9割の保護者の方に肯定的な回答をいただいています。また、子どもたちの、9割の肯定群の中でも6割の児童が「先生の授業は、とても楽しくわかりやすい」と回答をしてくれていることは、嬉しい限りです。保護者の方からは、「出席停止になった時、オンラインへの対応が早く安心できました。」「いろんな先生がクラスに入って授業してくれており、よい刺激になっています。」というご意見をいただきました。一方で、教職員の授業中の言動や授業時間延長に対するご指摘もありました。

本年度は、「個の学びの充実と、『ひと・もの・こと』とのかかわり合いを大切にし、学びを深める子どもの育成～『自分で考え、かかわり合い、振り返る』を1サイクルとした授業づくりを通して～」というテーマのもと、「自分の思いや考えをもてる子」「自分の考えを友達の考えと比較し、話し合える子」「振り返りにて考えを再構築し、次の学びに向かう子」を目指してきました。地域や生活に関わる教材で問題解決的な単元を仕組むことで、子どもたちの知りたいという思いが生まれ、主体的に学習を進めていくことができます。話し合う必然性のある問題を共有して考えを交流することで心に残る授業をつくらうと、全職員が、授業研究に積極的に取り組んできました。

今後も日々の授業を充実・改善していくよう、引き続き、我々教職員が日々研鑽努力していくことが大切だと考えます。これまで以上に基礎基本を大切にしつつ、体験的な活動や問題解決的な学習に取り組み、子ども一人一人の学びを保障できる教育環境づくりに努めます。

また、授業は子どもと共に作っていくものであり、信頼関係の上に成り立つものと考えています。教職員自身も、時間を守ったり言動に気をつけたりして、信頼関係を築き、楽しくわかりやすい授業を作っていくことができるよう努めます。

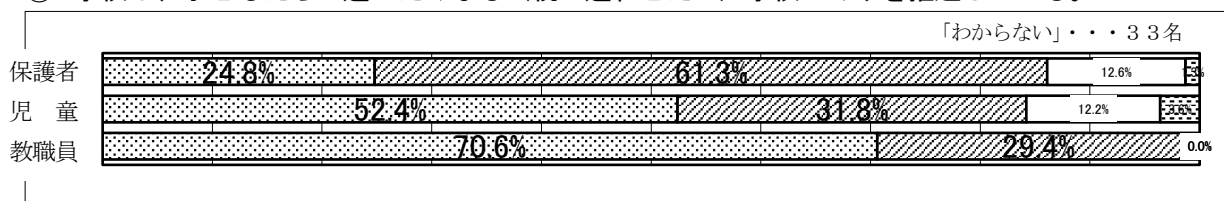
⑤ 学校は、子どもたちに知識や技能、自分で考え行動する力などを育てている。



○9割近くの保護者に肯定的に回答をいただいています。一方で、「知りたいことや調べたいことがあるとき、自分から調べたり、だれかに質問したりできましたか。」という問いに対して児童の肯定的な回答が、76、4%にとどまっています。自分から調べたり行動したりすることが苦手な児童がやや多いということがわかります。

子どもたちの「生きる力」を育むためには、与えられた知識や技能を身につけるだけでなく、自分で考え、行動する力を育てていくことが必要です。得た知識や技能を活用したり、わからないこと、疑問に思ったことを自分の力でどんどん調べていくことができる力が身につけば、個々の学びは自ずと広がっていくはず。そのために本校では、単純に知識だけを得るのではなく、生活の中で使える力になるように、学習の進め方や扱う内容について工夫した「問題解決的な学習」に取り組んでいます。例えば、SDGsを扱ったみどり学習では、持続可能な社会を創るために今自分ができることを調べ、考え、実践する（周りに働きかける）など、子どもたちが主体となって学習を進めることで、自ら考え行動する力を伸ばしていきたいと考えています。この学習を充実させるためには、個の学び（調べ学習）と協働的な学び（話し合い）の両方が大切です。一人で調べたことが、話し合うことによって広がったり深まったり、また次の学びに進んだりするからです。タブレット等のツールも活用しながら主体的に調べる力を伸ばすと共に、「お話タイム」等で話し合う力を育み、自ら考え行動できる児童の育成を目指していきます。

⑥ 学校は、子どもたちが通いたくなる（親が通わせたい）学校づくりを推進している。

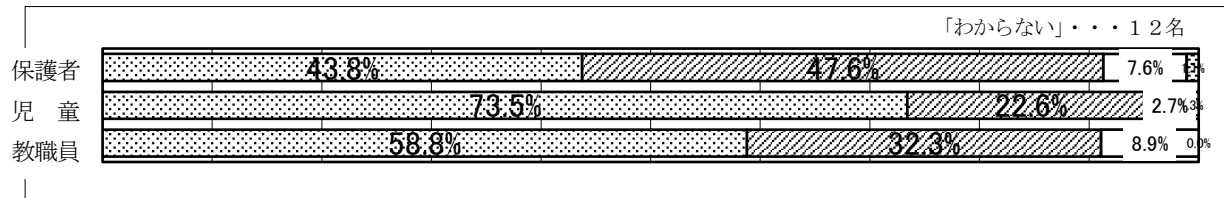


○8割以上の保護者・児童が肯定的に回答しています。「先生方の雰囲気やよいこと、日々の活動への熱心なご指導に感謝しています。」「子どもが毎日楽しそうに過ごしています。行事に向けて前向きに取り組んでいるのも、先生方の声かけなどのおかげだと思います。」「いろいろな学年の先生から声をかけていただいているようで、たくさんの目で見守っていただける安心感があります。」「去年の担任の先生や顔見知りの先生も気にかけて声をかけてくださり、心強く思います。」などのご意見をいただきました。

全職員で全児童を支援していけるよう、毎月1回は必ず生活サポート委員会・児童理解の会を行い共通理解を図るとともに、その対応策を検討しています。また、毎月実施する「心のふりかえり(児童アンケート)」や日頃の生活の様子を観察するなかで、担任が積極的に面談を行い、子どもたちの不安を取り除く努力をしています。また、子どもに向き合う時間を大切に、話を聞いたりよいところを認め励ましたりして信頼関係を深めてきました。

魅力的な学校であるためには、魅力的な教職員集団であることが最も大切だと考えています。今後も、授業力向上のための研修を充実させたり、子ども一人一人の心の居場所がある学級経営のあり方を考えたりと、教職員が一丸となって資質能力の向上に努めていきます。

⑦ 学校は、子どもたちの登下校の安全確保のために家庭・地域と連携しながら取り組んでいる。



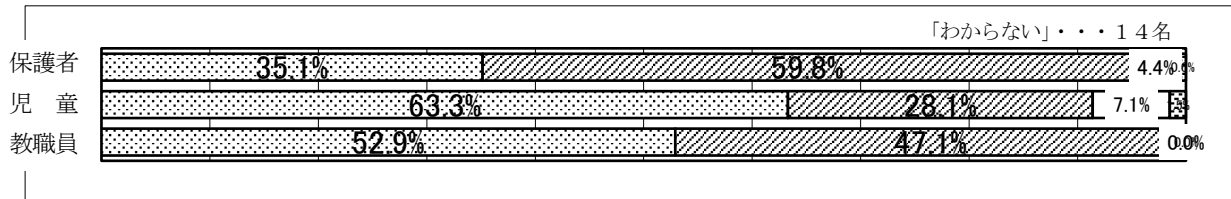
○9割以上の保護者の方に肯定的な回答をいただいています。「学校へ向かう時間がまだ早いと感じる。毎年きちんと到着時間などを確認してほしい。」「学級閉鎖の場合、通学団全員の組まで把握しきれておらず、班長が困ることがありました。通学団班長へお休みの連絡を親から入れるようにしてほしい。」というご意見の他、「旗当番は共働きや核家族が多い今では家庭の負担が大きく出来る範囲でボランティアや、委託を活用出来るようにしたい。子どもの為とはいえ、幼児など小さな子を連れて大通りの信号のある交差点で旗当番をするのはとても大変ですし、何度も仕事を休むのも困難です。」「交通旗当番ですが、最近見守り隊の方と旗当番の方が同じ場所で重なっているようです。正直、毎日活動があり、月1回程度当番が回ってくるのは負担です。有給を取っています。他の団体活動と重ならないようにしたり、毎日ではなく、毎週何曜日のみにしたりと、回数を減らすことはできないでしょうか。」など旗当番に関するご意見が寄せられました。

日頃はお忙しい中、保護者の皆様に交通旗当番として児童の登校を見守っていただきありがとうございます。また、栄小児童見守りボランティア隊（PTA）や校区子ども見守り隊（自治会）、民生・児童委員の皆様にも、交通指導やパトロール活動を行っていただき感謝しております。ボランティアで、登下校の見守りを毎日行ったださる地域の方々もいらっしゃいます。教職員については、登校時の立ち当番を月に2、3回、3か所で行い、校長は南部中南西角の横断歩道や南栄の駅前、動物病院付近の交差点等で、毎日子どもたちの登校を見守っています。町中の校区であるため、通学路に危険な箇所も多く、子どもたちの安全確保のためには、見守りが必要不可欠な現状です。PTA旗当番の方法については、PTA役員ともよく話し合い、効率的な方法を検討していきたいと思っています。

学校では、月1回程度、通学班長会を実施し、各通学班の現状を把握したり班長の困り感を解消したりするなど、集合時刻などの諸問題を早期対応できるようにしています。今後も旗当番やパトロール活動で心配される出来事があった場合は、学校にお知らせください。その都度、全教職員で共有し、全児童に知らせたり、関係する児童を集めて具体的な指導をしたりしてまいります。

また、欠席や遅刻をする場合は、必ず通学班の子どもたちに知らせてください。学級閉鎖に備えて、来年度からは班長と副班長が班員の学級を4月に把握するようにいたしますが、閉鎖学級となった場合は本人や保護者の方からも班員に連絡をしていただくと安心です。大雨等で休校の場合は、メールでお知らせします。急な天候悪化の場合等は、職員も通学路に出向きますが、近くにいる大人の方で子どもたちの安全確保にご協力いただくと大変ありがたいです。

⑧ 学校は、子どもたちが安心・安全に生活できる環境づくりに努めている。



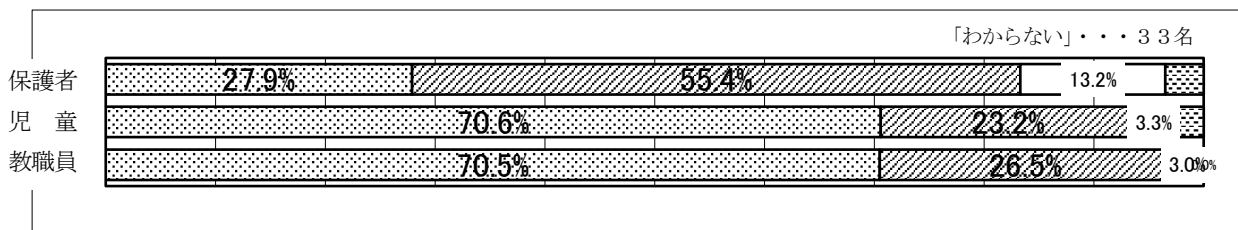
○9割以上の保護者の方から肯定的な回答をいただいています。「6月の大雨のような災害が起きた時の判断について、子どもたちの安全第一を考えた判断をお願いしたい。」「感染症予防のためトイレ掃除は児童にやらせず、外注してほしい。」というご意見がありました。

校舎大規模改修が始まり、駐車場等でご迷惑をおかけします。来年度は、北校舎改修の予定で、一部の学年が、プレハブ校舎での生活となります。運動場も使える範囲が狭くなりますが、子どもたちの安全を第一に考え、環境を整えてまいります。

学校では、月1回の教職員による安全点検の結果をもとに、緊急性の高い箇所から修繕をしたり、要望を市教育委員会へ提出したりしています。しかしながら、配当されている予算には限りがあり、思ったように整備が進まないというのが実情です。

本年度は、これまでに正門門扉補修、渡り廊下スロープ板固定補修、教室照明安定器補修、防火シャッター危害防止装置バッテリー取替、防火設備制御盤バッテリー取替、体育館床コンセントプレート取替、中校舎1階出入口引き戸錠取替、校舎屋上給水管漏水補修、手洗い場水栓取替、中校舎屋外南側排水桝補修等を行いました。アスレチック遊具ターザンロープ補修工事とバスケットゴール取替補修工事は、高額なため市教育委員会と交渉中です。ご理解いただけるようお願いいたします。

⑨ 学校は、お子さんのことについて気軽に相談できたり、適切なアドバイスをしてくれたりしている。

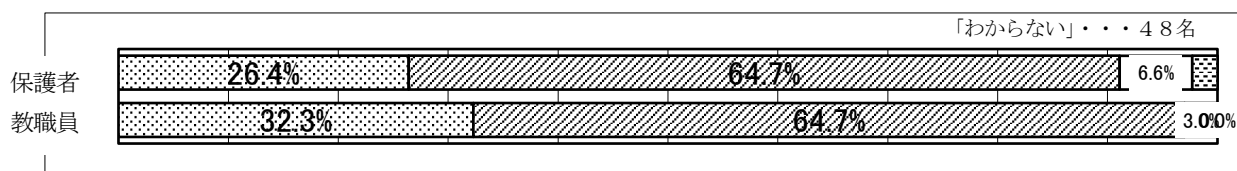


○8割以上の保護者・9割以上の児童が肯定的に回答しています。「いつもありがとうございます。色々なことで担任の先生に相談する機会がありましたが、信頼出来る先生でありがたいです。」「校長先生や生活サポート主任の先生は、不登校児童に対して、自宅まで行ってくれる、真摯に話を聞いてくれるなどしてくれており、とても好感がもてる。これからも、そういった細かい対応を継続してほしい。」などの声が寄せられました。

学校では「子どもや保護者の方々の声に耳を傾ける姿勢」を職員全体で共有し、常に相談者の立場に立って話を聞くよう心がけています。今後も、子どもや保護者の方々から理解が得られるような対応に努めてまいります。お子様のことで気になることがありましたら、遠慮なく学校にお問い合わせください。

学校だけでなく専門機関との連携が必要なケースもありますが、学校が最初の相談窓口として声を届けていただくためには、保護者との信頼関係をさらに強めていくことが何よりも大切だと考えています。子どもたちの様子は担任がいちばんよく知っていますので、まずは担任に相談してほしいと思います。しかし、担任に相談しにくい内容や担任には話しづらい場合は、学年主任や校務主任（生活サポート主任を兼務）が対応しますので、声をかけてください。なお、学校はスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、にじの子相談など専門機関への橋渡しも行っています。

⑩ 学校は、今年度重点的に取り組んでいる内容が伝わるように努めている。

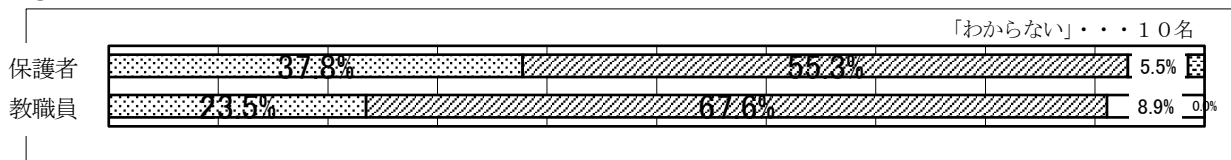


○9割の保護者の方が肯定的に回答していただきましたが、48名の方が「わからない」と答えられています。

学校としては、『PTA総会の資料』に学校経営方針として今年度の重点目標等を掲載させていただいたり、『学校新聞』や『栄小ホームページ』を通して学校の取り組みをお知らせしたりしてきましたが、「わからない」と答えられた人数から考えると充分ではなかったと感じています。「どんな学校を目標としているのか」「栄小教育の特色は何か」をより明確にし、一人でも多くの方に内容がよりよく伝わるように手段を工夫して一層の努力をしていきます。

また、この『学校教育目標の実現を目指す営みを、確かなものに』や、『学校新聞』における学校評価の結果や今後の改善方策の公表もその一つと考えています。

⑪ 学校は授業や行事等を参観したり、話し合ったりする機会を適切に設けている。



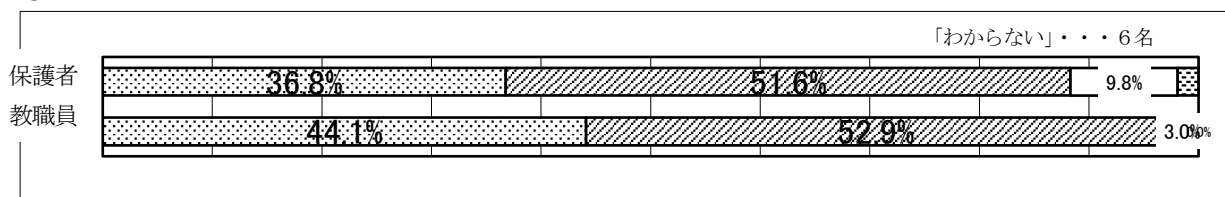
○9割以上の保護者の方から肯定的な回答をいただいています。「担任の先生はちょっとした事で連絡を下さいました。これからも開かれた学校を継続して頂けると嬉しいです。」「歌声集会在とても素晴らしく感動しました。」という肯定的なご意見の一方で、「部活動がなくなりましたので、クラス単位の人数で、何かに一生懸命取り組み、達成感を感じられる工夫をしていただきたいです。保護者もそういう顔を記録でもいいので見たいです。」「群読・歌声発表会は、下段児童が全く顔が見えなかった。学年ごとにするなど、工夫が必要。親も席替えを声掛けしてほしい。」「授業参観で廊下から教室内の子どもを見る際に、廊下と教室の間にある小窓を取り外していただけると、もっと見やすくなると思います。」という意見もいただきました。また、授業参観や行事を行う曜日に関しては、「土曜の行事は、減らしたらよいのでは。代休に学童に行く場合は子どもがしっかり休めず、休まなければならない保護者にとっても負担である。先生方も休日出勤は大変ではないか。」「授業参観等は土曜日のみにしてほしい。平日の回数が多すぎて、休めなくて行けない日もあり、子どもが淋しそうなきが、何回かあった。」というように相反するご意見がありました。

今年度は、新型コロナウイルスが5類に移行されたこともあり、「運動会」「群読・歌声発表会」「学習発表会」などを対面で行うことができました。「群読・歌声発表会」は、より多くの人数で響き合う群読や歌声の感動を子どもたちに味わわせたいという思いから三学年ずつの発表としました。子どもたち一人一人の顔が見え辛く、ご迷惑をおかけいたしました。また、今後の授業参観時は、教室と廊下の間の窓を外すなど、保護者の方に子どもたちの様子をよく観ていただけるよう工夫をしております。(冷房や暖房が効かず支障が出る場合やプレハブ校舎の窓の形状によっては、できない場合もありますので、ご了承ください。)

開催の曜日については、「運動会」「学習発表会」は土曜日開催、「授業参観」「マラソン大会」は平日を考えています。

学校行事の中で子どもたちは大きく成長します。来年度は、さらに内容や方法を工夫していきたいと思っていますので、ご支援・ご協力をお願い致します。

⑫ 学校からの文書やたよりはわかりやすく、タイムリーである。



○9割近くの保護者の方に肯定的な回答をいただいています。「学校での様子がわかる写真の入ったお手紙が来たことがあり良かった。もっと簡単でいいので、クラスごとの通信の回数を増やしてほしい。」「月一の学年通信に、子どもの様子やクラスの活動の様子がわかるようにしてほしい。」「学校での自転車教室や、理科のスケッチなど、全くそのことを知らない保護者であっても分かるよう、説明をつけてもらいたい。地元の人や、知ってる人が周りにいる人には伝わるかもしれないが、理解しにくいこともある。分からなくても、気軽に学校に連絡を取らない保護者もいるため。」「お便りが月一回程度なので、学校の活動内容をもっと発信してほしい。」「挨拶キャンペーンや図書館まつりなどの保護者へお知らせがないので今回のアンケートに反映することが難しいと感じました。」「体調不良者が多い時や感染症流行期は積極的に情報発信をして、全体で気を付けていく様にする方が良いのでは…」などの声が寄せられました。参考にさせていただきます。また、文書の出し方については、「紙媒体はかさばり、管理も大変なので、連絡アプリでの配信を、ご検討いただければ幸いです。」「学年だよりはWebでも見られるようにしてほしい。」「学年通信は引き続き紙の配付でお願いしたいです。」など、相反するご意見をいただきました。

学校からの情報発信は、家庭との信頼関係づくりの基盤となるものです。日頃の子どもの生活ぶりや学校の取り組みをこまめにお知らせし、学校と家庭がともに健やかな子どもたちを育んでいくよう努力する必要があると考えています。いただいたご意見を参考に、学校の様子がより保護者の皆様に伝わるよう、努めてまいります。

また、栄小学校ホームページでは、『校長室より』において学校の様子をタイムリーにお知らせしています。この中で、「あいさつキャンペーン」など学校生活のさまざまなできごとについて、校長が文章と写真で紹介していますので、ぜひご覧ください。

ペーパーレス化については今後も続けていく予定です。先日ご案内したように来年度から、学校からのメール連絡とご家庭からの欠席連絡を、「デンタツくん」というアプリに一括化していきます。このアプリを使うことにより、「おたより」の項目にPDFで貼りつけられた連絡プリントを、簡単に見ていただくことができますので、ご活用ください。ただし、月の予定の載っている学年通信に関しましては、紙でのご要望が多いため、プリントしたものを配付するようにしたいと思います。今後は、「デンタツくん」を積極的に活用し、必要な情報を迅速にお知らせし、今まで以上に栄小学校の取り組みについて、関心をもっていただけるよう努力してまいります。保護者の皆様には、アプリの登録等お手数をおかけいたしますが、ご協力をよろしく願いいたします。

写真や個人名をホームページやプリント、メールに掲載することに関しましては、個人情報の観点から慎重に扱っておりますので、ご理解をお願いします。

3 保護者からの要望・意見 「Q&A」

本校に寄せられた要望や意見に対し、「2 集計結果とその考察」において学校としての考えを回答してきましたが、ここでは、その他の件について「Q&A」としてまとめてみました。今後も皆様からの要望や相談事には、誠意をもって対応してまいります。お気づきのことがありましたら、その都度遠慮なく学校まで申し出てください。

Q 1

- ・遠足などの見聞を広める活動が少ないと思います。遠足を再開してほしいです。
- ・春の遠足はもう行わないのでしょうか？ 遠足は子どもたちも楽しそうだったので、また復活していただくことを希望します。

A 1

校外で見聞を広める機会は、子どもたちの学びに大変重要です。学校としましては、全校一斉の「遠足」という形ではなく、各学年の発達段階や学習に合わせた「校外学習」を充実させていきたいと考えています。本年度は、「公園探検」「校区探検」「消防署見学」「わくわく学習」「工場見学」「戦争遺跡見学」など、それぞれの学年ごとに校外へ出て、楽しみながら学びを深めてきました。今後、低学年では電車を利用した校外学習も計画中です。来年度も、子どもたちの発達段階や学びに合わせて、価値ある校外学習を積極的に実施していきます。ご理解・ご協力をお願いいたします。

Q 2

子ども達はいつになったら給食を向かい合って食べられるのでしょうか？ 大人は会食で向かい合っています。子ども達を置き去りにするような事は改善してほしいです。

A 2

学校給食には、「食事を通してよりよい人間関係や社交性が育まれるようにする」という目標もあります。その目標を達成するためには、可能な限り向かい合って楽しく会食できるような環境を整えるべきと考えています。新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されてからは、学校もそのような方針で進めています。ただし、学年やクラスに感染症拡大の危険がある場合は、この限りではありません。現在、インフルエンザ等の流行が心配され、前向き給食の形をとっている学年や学級がありますが、ずっとこの状態が続くということではありません。

Q 3

- ・マラソンの時など、急に体温が下がると風邪をひいてしまうため、体温調節ができるよう体育時も長袖長ズボンのジャージを着用ができるよう検討してほしい。
- ・体操服の長ズボンがほしいです。栄Tシャツの長袖がほしいです。

A 3

11月10日のメール「冬の服装について」でもご連絡させていただきましたように、冬の体育の授業時は、体操服の上に長袖長ズボンの上着着用を認めています。また、マラソンの時などは、校庭に上着を持っていき、体温調節を行っています。体育の授業時の上着については、「動きやすく脱ぎ着しやすいもの」以外に特に制限は設けておりませんので、今のところ、体操服の長ズボン作成の予定はございません。栄Tシャツについては、PTAの方で来年度に作成予定ですので、長袖のご要望の件は検討事項とさせていただきます。

Q 4

- ・子どもの話や宿題、テストの結果から、授業についていけないと感じることがある。家庭でも教えているが、学校での教え方と違うと混乱してしまうときがあるので教え方に困っている。
- ・運動系は色々頑張るタイミングがあるような気がしますが、勉強系を強化できるような仕組みがあると助かります。勉強したい時に何をしたいのか分からなくて、追加の家庭学習のアドバイスのような物が何かあるだけでも違うかなと思います。

A 4

ご家庭でも、子どもたちの学習をみていただいています。学校での教え方、追加の家庭学習のアドバイス等に関しましては、個別に対応させていただきますので、いつでも気軽に担任までご相談ください。個人懇談会の時だけでなく構いません。お家の方と共通理解を図りながら、個々の子どもたちの学びをサポートしていきたいと考えています。

Q 5

指定の体育館シューズを見直して頂きたいです。子どもたちの足の発達に悪影響のある形（先端が細くなっているため指が曲がってしまう）なのが気になります。子どもの靴なのにサイズも1cm刻みと大雑把で、幅の調整もできないため、足が安定せず怪我の心配もあります。各自が足に合った靴を選べるようにして頂けたらと思います。

A 5

業者に伝えさせていただきます。どうしても足に合わない場合は、必ず指定のものでなくてはならないというわけではありません。個別にご相談いただければと思います。

Q 6

ランドセルに自由度があつてよいのではないかと。（段階的に、「半日のときはリュック可」としてほしい）

A 6

ランドセルは、背負い易く、万が一仰向けに転んだ時も頭を守る設計で、子どもたちの通学に適したものであると考えています。また、リュックよりも教科書が傷みにくいという利点もあります。しかし、弁当持参の時などは、弁当箱が入りにくいということもありますので、子どもたちの安全を第一に考えて検討し、リュック可の日をご連絡させていただきます。

Q 7

AIの採点は白黒で味気がない。いい点を取っても喜びが少なく感じる。

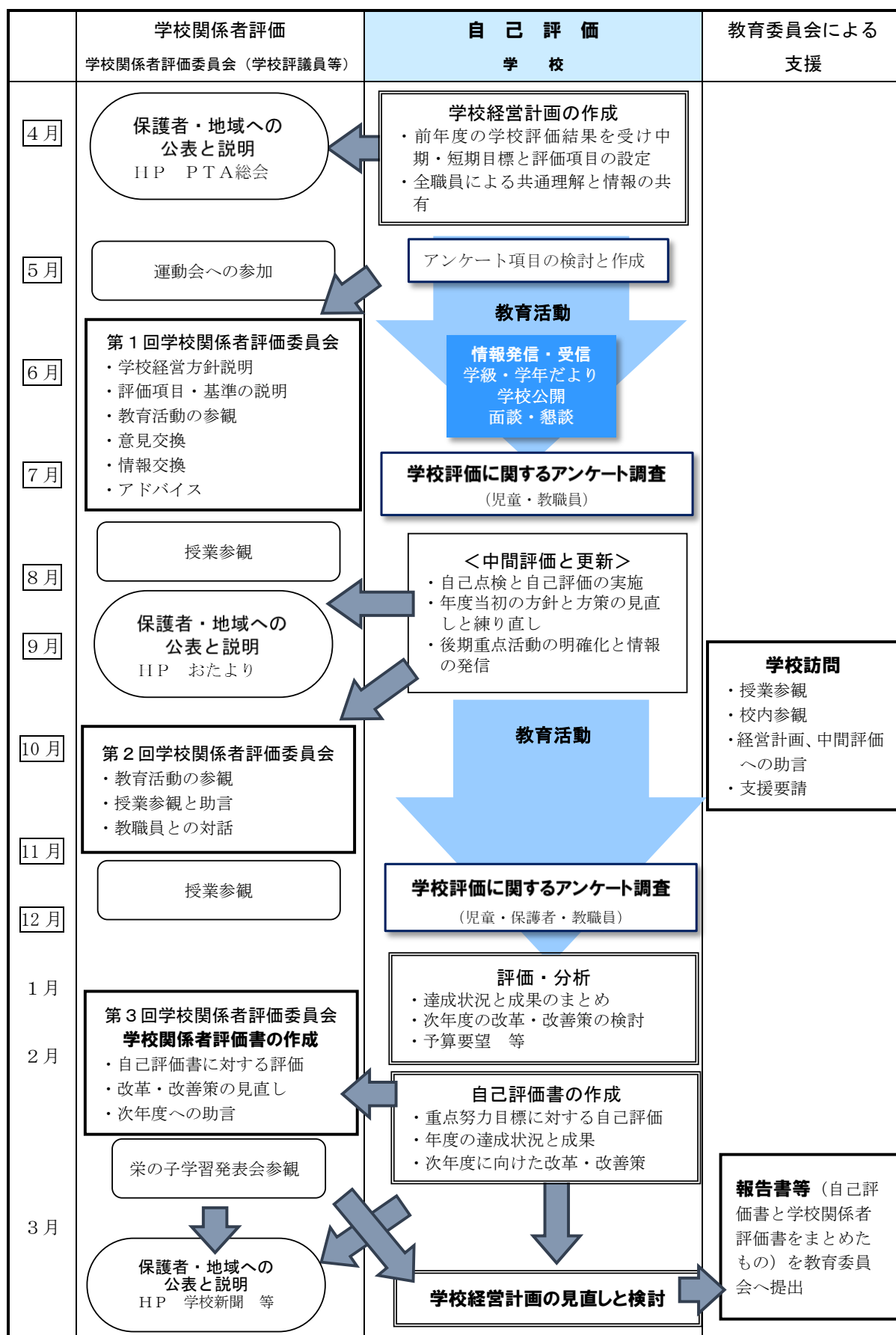
A 7

AIの採点は、教職員の採点の時間を、子どもたちと向き合う時間に変える豊橋市の取り組みです。また、瞬時に正答や誤答を分析し、次の指導に役立てるものでもあります。確かに、白黒で味気なくお感じになるかもしれませんが、間違い直し等をしっかりと行い、テストを次の学びに生かすことは、今までと変わりありません。ご理解をお願いいたします。

4 おわりに ～子どものよりよい姿を求め～

学校は、子どもたちの健全な成長のために、今後も家庭や地域と一体となって教育を推進していくことが大切だと考えております。そのため、学校の果たすべき機能をどの程度果たしているかを総合的・客観的に評価し、その結果を学校運営の修正や改善に活かしてまいります。

来年度も、保護者・児童・教職員の調査結果を有効に活用することで、栄小の子どもたちを学校教育目標で示されている姿に近づけていきたいと考えています。今後も、児童はもちろん保護者の皆様方からも信頼される、より質の高い教育を目ざして、全職員一丸となって取り組んでいきます。より一層のご支援をお願いいたします。



資料2

アンケート調査項目

教職員と児童や保護者に対するアンケート項目をリンクさせ、その「相違点」を分析・考察することにより、学校課題をより明確にできるようにしています。

| | 項目 | 保護者 | 児童（※2） | 教職員 |
|--------------|----|---|---|--|
| 豊かな心 | ① | 学校は、子どもたちがすすんで挨拶できるような取り組みを行っている。 | 時と場合に応じて、挨拶をしている。 | 子どもたちが、すすんで挨拶するための手だてを講じている。 |
| | ② | 学校は、子どもたちに他人と協調し、思いやる心や感動する心を育てている。（※1） | 相手の気持ちを思いやり、みんなと力を合わせることができた。 | 子どもたちに他人と協調し、思いやる心や感動する心を育てている。（※1） |
| 体力向上 健康増進 | ③ | 学校は、子どもたちに必要な体力や、健康に気をつけて生活する意識を育てている。（※1） | 自分のめあてに向かって、すすんでうんどうした。 | 子どもたちに必要な体力や、健康に気をつけて生活する意識を育てている。（※1） |
| 確かな学力 | ④ | 学校は、子どもたちにとってわかりやすく、学ぶ楽しさや喜びを実感できる授業を行っている。 | 先生の授業は、楽しく、わかりやすい。 | 基本的事項の確実な定着を図るとともに、学ぶ楽しさや喜び、成就感を体得させるような授業を実践している。 |
| | ⑤ | 学校は、子どもたちに知識や技能、自分で考え行動する力を育てている。（※1） | 知りたいことや調べたいことがあるとき、自分から本やタブレットで資料や情報を集めたり、だれかに質問したりできた。 | 子どもたちに知識や技能、自分で考え行動する力などを育てている。（※1） |
| 安全・安心な学校づくり | ⑥ | 学校は、子どもたちが通いたくなる（親が通わせたい）学校づくりを推進している。 | 学校へ来るのは、楽しい。 | 学校が好きな子どもを育成する学級経営や安全安心な学校づくりに努めている。 |
| | ⑦ | 学校は、子どもたちの登下校の安全確保のために、家庭・地域と連携しながら取り組んでいる。 | 安全な登下校ができ、放課は安全に気をつけて過ごせた。 | 子どもたちの交通安全、防災、防犯についての指導は、計画的になされている。 |
| | ⑧ | 学校は、子どもたちが安心・安全に生活できる環境づくりに努めている。 | いつも安心して学校生活がおくれている。 | 学校が子どもたちの学習や生活の場としてふさわしい環境であるように手だてを講じている。 |
| | ⑨ | 学校は、お子さんのことについて気軽に相談できたり、適切なアドバイスをしてくれたりしている。 | 先生は、困ったときに話を聞いてくれる。 | 一人一人の子どものお話を聞いたり、よいところを認め励ましたりして信頼関係を強くしている。 |
| 開かれた学校 | ⑩ | 学校は、今年度重点的に取り組んでいる内容が伝わるように努めている。 | | 教育目標や経営方針がよく理解されるような手だてを講じている。 |
| | ⑪ | 学校は授業や行事等を参観したり、話し合ったりする機会を適切に設けている。 | | 学校公開日の時期、内容は、適切・十分である。 |
| | ⑫ | 学校からの文書やたよりはわかりやすく、タイムリーである。 | | 文書やたよりは、保護者のニーズにあった内容で、時期も考えて出している。 |

（※1） 第6次豊橋市総合計画の指標に関するアンケート項目です。

（※2） 児童は3～6年生がアンケート実施しています。